

優秀発表賞の考え方と審査方法・留意点

2025 年 3 月

日本繁殖生物学会

プログラム委員会

優秀発表賞は、繁殖生物学研究の活性化をはかるため、日本繁殖生物学会大会で優秀な研究発表（講演）を行った学生や若手研究者に授与される賞です。賞の選考に際しては、大会での講演を透明性のある評価基準とシステムによって審査します。大会長は、得られた審査結果に基づき受賞者を決定し、学会理事長の承認を得て、大会長と理事長の連名で優秀発表賞（賞状ならびに副賞）を授与します。東京大会へのみなさまのご参加、若手の皆さんの優秀発表賞への応募を心からお待ちしています。

【優秀発表賞への 3 つの提言（2003 年帯広大会における提言を継承）】

優秀発表賞は、完全に「開かれた選考」によって受賞者を決定しようとするものです。そのためには、選考基準は誰にでも解る明瞭なものが必要です。同時にすべての審査員は、選考理由について明確に説明できなければなりません。大会期間中に設定されている二次審査の場では、聴衆は誰もが優秀発表賞の選考に参加している実感をもてるような雰囲気大切だと考えます。この場は、発表者、審査員、聴衆にとって真剣な舞台であり、新しい発見と学習の場であるはずです。以下に、3 つのポイントとして優秀発表賞への考え方を記します。

- 1) 研究成果より研究過程を：多くの賞は成果によってのみ判断される傾向があります。本優秀発表賞では、むしろ成果に至るまでの過程（アイディア、研究の組み立て方など）を重視することで、研究の進め方に光を当てたいと思います。最近、研究の進め方を学ぶ機会は意外に限られてきています。優秀発表賞の選考過程が、様々な分野の‘探求する心’を刺激し、学ぶ場となることを期待します。
- 2) どの研究分野からも応募できる：莫大な予算が必要な基礎研究もある一方で、現場の些細な観察の集積から生まれる研究もあります。本優秀発表賞は研究分野や組織・資金にかかわらず誰もが応募できるような賞であることが重要だと考えます。
- 3) わかりやすい発表を：本学会は基礎から応用・臨床まで幅広い分野の人々で構成されています。異なる分野の人が興味をなくしてしまうような発表スタイルではなく、未知の分野に興味をかきたてられるような、あるいは参加者（聴いている人）が自身の専門分野との繋がりにはっとするような、わかりやすい発表スタイルを求めています。

【採点基準】

従来、優秀発表賞は口頭発表部門とポスター部門の 2 つの部門で審査されました。ポスター部門は

学会発表の入門的な意味合いを考慮したものです。2018 年第 111 回大会より試行としてポスター部門の審査を行わず、口頭部門に「カテゴリー1（学生会員）」と「カテゴリー2（若手会員）」の二つのカテゴリーを設けることとしました。2025 年第 118 回大会でもこの方針を引き継ぎ、優秀発表賞は口頭発表のみを対象とします。**なお昨年度から、ライフイベント等に配慮した学生・若手会員の応募も認めます（応募資格参照*）**。採点は技術点（経験による技術の向上が期待できるもの：方法、結果、スライド、全体のバランスなど）と思考点（アイデア、理解の深さなど：オリジナリティ、イントロ、考察、結論、発表、質疑応答）を考慮して行います。優秀発表賞への応募には、いずれのカテゴリーにも通常の 2 倍の字数の優秀発表賞書類選考用要旨の提出を別途に義務づけています。提出された全ての書類選考用要旨については、まず 7 分野に振り分け、分野毎に 6 名程度の委員が、要旨の内容だけに基つき（発表者の氏名と所属は伏せた状態で）書面で審査し、各カテゴリーについてプログラム委員会が 6 題程度（応募数によって調整あり）を選出します（一次審査）。これらの選出された演題の発表は、大会期間中のコンペティション（二次審査）で学会評議委員によって審査され、その評点をもって大会長が受賞者を決定します。この際、審査員はその演題の共著者でない限りすべての発表の採点を行わなければなりません。従って、発表者はどの分野の研究者や学生にも興味を喚起し、理解できるプレゼンを求められます。

受賞対象枠は、現時点では各カテゴリーでそれぞれ数題程度を想定しています。以下に、今回の評点の項目と配点を列記しますので、応募予定の方々は参考にして下さい。各項目は、5：とても優れている、4：優れている、3：標準的である、2：やや不十分である、1：不十分である、の 5 段階評価に分けられます。

講演要旨（一次審査）

●オリジナリティ

独創性（15 ポイント）：研究対象や仮説、得られた結果の解釈が独創的であるか？（目の付けどころと理論の組み立て）

創造性（15 ポイント）：実験手法を含め問題へのアプローチに工夫が見られるか？

●イントロダクション

問題提起（10 ポイント）：限られたスペースで適確に問題提起がされているか？

目的設定（5 ポイント）：目的は明確で的を射たものか？

●方法

実験計画（5 ポイント）：適確で無駄のない計画か？

実験手法（5 ポイント）：信頼できる実験手法か？方法を十分理解しているか？

解析方法（5 ポイント）：統計分析を含めて、結果を正しく、目的に沿って解析しているか？

●結果と考察

結果（5 ポイント）：結果が分かりやすく提示されているか？

考察（15 ポイント）：結果と整合性のある考察か？

- 結論

全体構成と結論（20 ポイント）：設定された目的および得られた結果に対して整合性のある結論か？制限の字数 [全角 1600 字（半角 3200 字）] 以内で正確に発表内容が記述されているか？

口頭発表（二次審査）

- 発表

研究の質（20 ポイント）：質の高い内容か？

口頭発表（20 ポイント）：分かりやすい発表か？（表現力など）

スライド（10 ポイント）：分かりやすいスライドか？（見やすさなど）

バランス（10 ポイント）：各セクション（イントロ、方法など）のバランス

要旨との整合性（20 ポイント）：要旨とのコーディネーション（要旨と発表内容が補完しあっているか？）

- 質疑応答

質問に対する対応（20 ポイント）：質問に適確に答えられるか？

※講演 10 分、質疑応答 5 分とします。

【応募資格】

「日本繁殖生物学会会員の方」かつ「原則 2025 年4月1日時点で32 歳以下の方（1993 年4月2 日以降に生まれた方）」とします。「カテゴリー1（学生会員）」では応募時点で学生会員の方に限ります。

「カテゴリー2（若手会員）」では有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別、学士・修士・博士の学位は問いません。また、研究活動以外のものを主たる職務とする方も含めます。

***ライフイベントや学歴等により配慮が必要な場合は、『履歴書および指導教員（または研究代表者）の推薦書』の提出が必要です。エントリーの可否とカテゴリー区分をプログラム委員会および大会事務局で検討します。**

若手研究者を幅広くエンカレッジする視点から本学会大会にて優秀発表賞を受賞した会員は、引き続き 2 年間は応募できません。すなわち、第 116 回神戸大会あるいは第 117 回名古屋大会において受賞した会員は、今回は応募できませんのでご注意ください。また過去に他の学会・研究会等で優秀発表賞に相当する賞を受賞された研究内容と実質的に同じ内容での応募は認められません。応募要件と異なる事例が判明した場合は、応募または発表を受け付けない場合があります。また受賞後に判明した場合は、受賞を取り消すことがあります。

発表者は、繁殖生物学会の学会員（正会員、学生会員、名誉会員、シルバー会員）であることが必須条件という規定がありますので、応募の前に会員更新、あるいは入会の手続きを行って下さい（http://reproduction.jp/NewHP/Membership_J.html をご参照下さい）。

【演題登録期間】

講演要旨オンライン登録開始： 2025 年 4 月 7 日（月） 13:00

講演要旨オンライン登録締切： 2025 年 5 月 14 日（水） 17:00

【演題登録様式】

優秀発表賞に応募する場合には、一般発表用の講演要旨 [演題として全角 70 字 (半角 140 字) 以内、講演要旨本文としては全角 860 字 (半角 1720 字) 以内] とは別に、全角 1600 字 (半角 3200 字) 以内の優秀発表賞書類選考用要旨を作成してください。図表は使用できません。ライフイベントや学歴等により配慮が必要な場合は、さらに『履歴書および指導教員（または研究代表者）の推薦書（所定の形式あり）』の提出が必要です。エントリーの可否とカテゴリー区分をプログラム委員会および大会事務局で検討します。